

## 第34回港区民世論調査報告書 概要版

# MINATO OPINION

ミナト

オピニオン

この冊子は、令和5年12月に実施した「第34回港区民世論調査」の結果の概要版です。ご協力いただきました区民の皆様にご心から感謝申し上げます。

### 【調査の概要】

#### ■調査設計等

【調査対象】 港区在住の満18歳以上の男女個人（外国人を含む）

【標本数】 2,000人

【抽出方法】 住民基本台帳からの層化無作為抽出

【調査方法】 郵送配布・郵送又はインターネットによる回収

【調査期間】 令和5年12月1日（金）～12月20日（水）

【有効回収数】 770人

【有効回収率】 38.5%

#### ■調査項目

- |                 |            |
|-----------------|------------|
| 1 定住意向          | 8 防災用品等の備蓄 |
| 2 区政全般          | 9 男女平等     |
| 3 区基本計画         | 10 平和      |
| 4 港区へ訪れる観光客について |            |
| 5 地球温暖化対策       |            |
| 6 生物多様性         |            |
| 7 災害対策          |            |

※ 図表中の「n」は、その設問の回答者数を表しています。

※ 回答率は百分率で算出し、小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

※ 複数回答の設問では、回答率の合計が100%を超える場合があります。

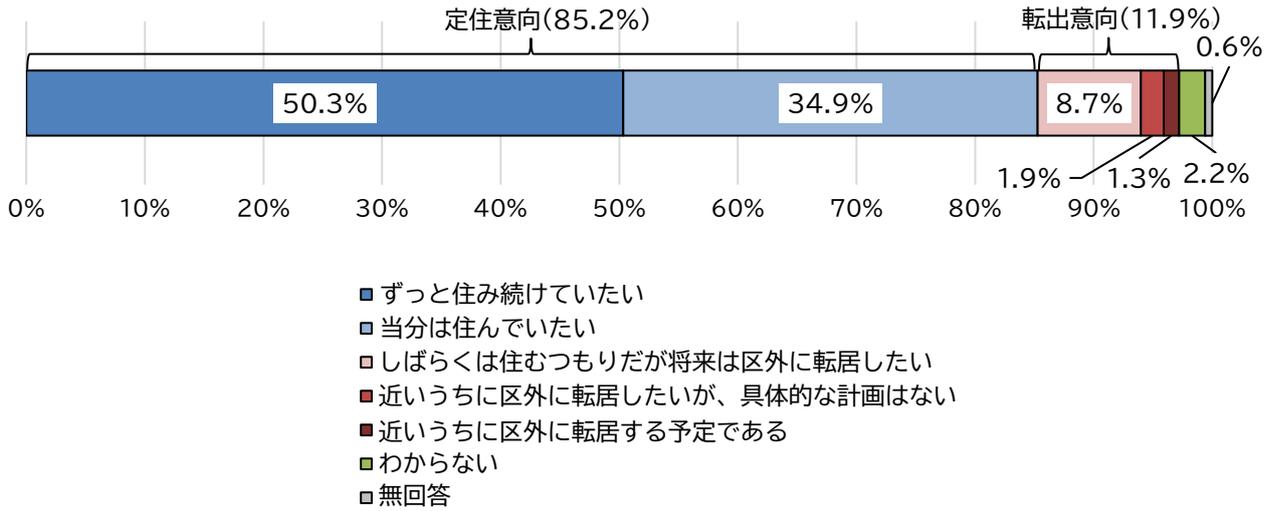
※この冊子は英語版も発行しております。港区ホームページをご覧ください。03-3578-2111(区役所代表)へ送付希望の旨ご連絡ください。

# 港 区

# 1 定住意向

これからも港区に住み続けたいと思うか聞いたところ、「ずっと住み続けたい」(50.3%)が5割で最も多く、これに「当分は住んでいたい」(34.9%)を合わせた『定住意向』(85.2%)は8割半ばとなっています。一方、「しばらくは住むつもりだが将来は区外に転居したい」(8.7%)と「近いうちに区外に転居したいが、具体的な計画はない」(1.9%)と「近いうちに区外に転居する予定である」(1.3%)を合わせた『転出意向』(11.9%)は1割を超えています。(図1)

図1 n=770(単一回答)

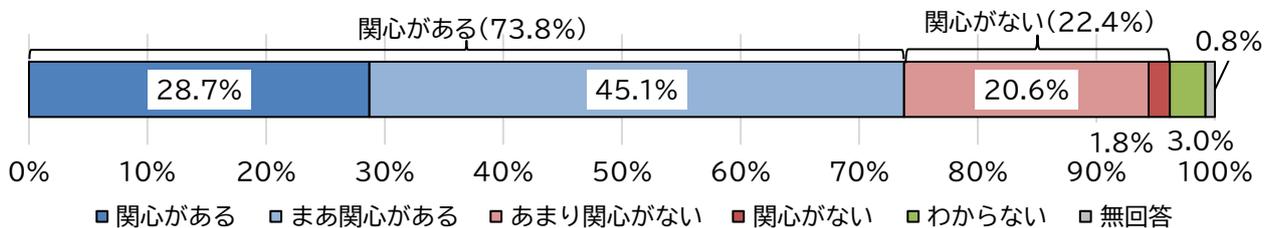


# 2 区政全般

港区政に関心があるか聞いたところ、「まあ関心がある」(45.1%)が4割半ばで最も多く、これに「関心がある」(28.7%)を合わせた『関心がある』(73.8%)は7割を超えています。

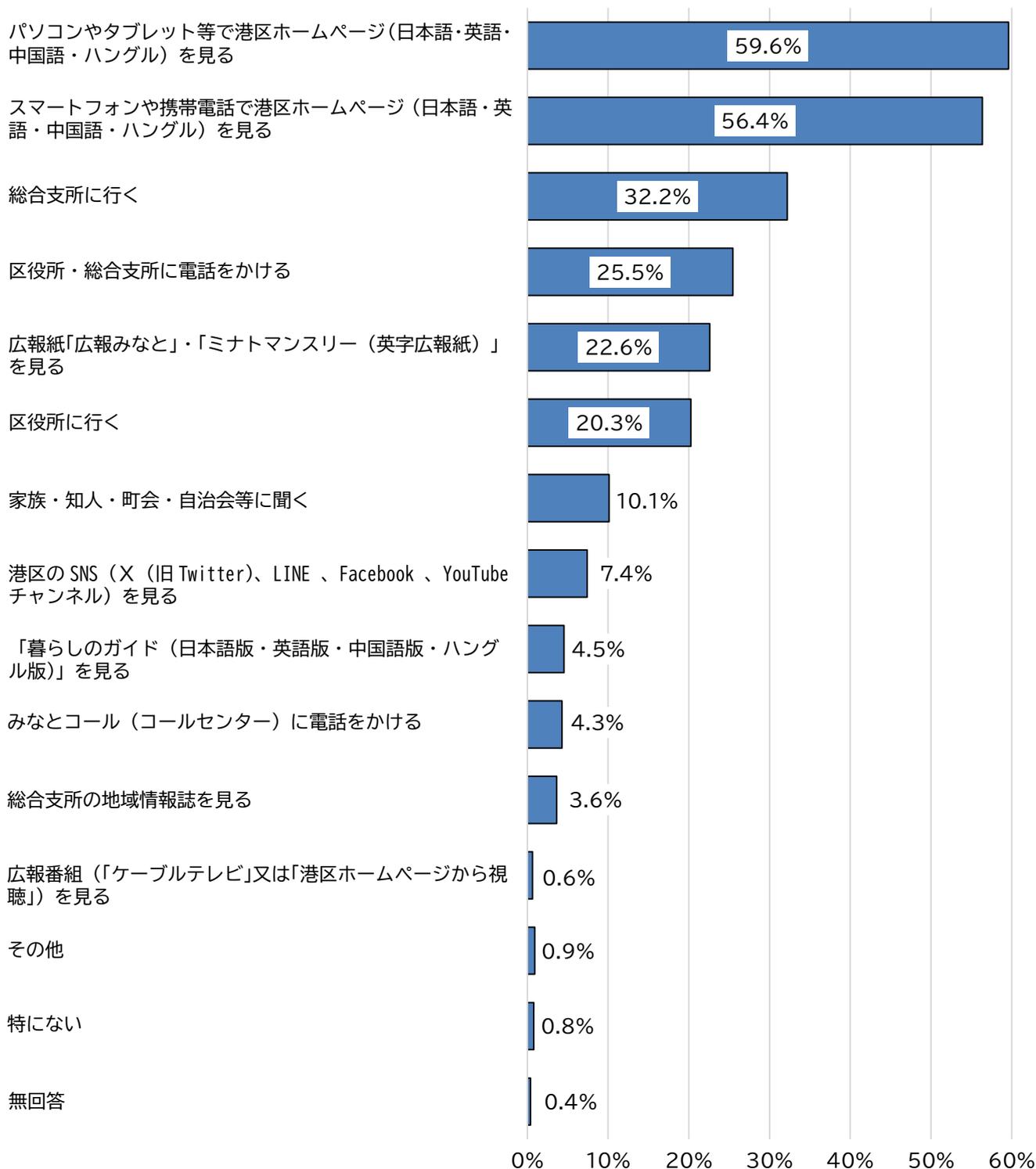
一方、「あまり関心がない」(20.6%)と「関心がない」(1.8%)を合わせた『関心がない』(22.4%)は2割を超えています。(図2)

図2 n=770(単一回答)



区の行政サービスや手続きの方法を知りたいとき、どのように情報を入手するか聞いたところ、「パソコンやタブレット等で区公式ホームページ(日本語・英語・中国語・ハングル)を見る」(59.6%)が6割で最も多く、次いで「スマートフォンや携帯電話で港区公式ホームページ(日本語・英語・中国語・ハングル)を見る」(56.4%)、「総合支所に行く」(32.2%)、「区役所・総合支所に電話をかける」(25.5%)、「広報紙「広報みなと」・「ミナトマンスリー(英字広報紙)」を見る」(22.6%)と続いています。(図3)

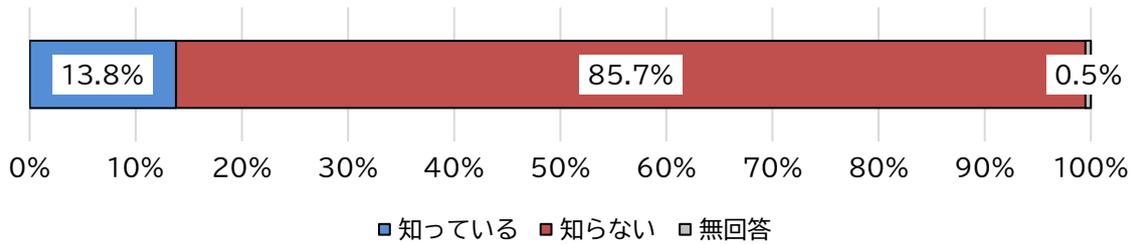
図3 n=770(複数回答可)



### 3 区基本計画

令和2(2020)年度に策定した「港区基本計画(令和3(2021)年度～令和8(2026)年度)」について知っているか聞いたところ、「知っている」(13.8%)は1割を超え、「知らない」(85.7%)が8割半ばとなっています。(図4)

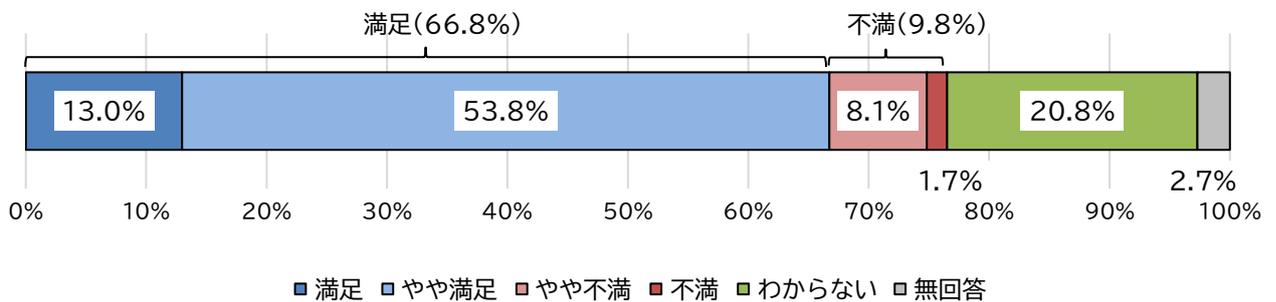
図4 n=770(単一回答)



区の施策を全体的に評価した場合の満足度を聞いたところ、「やや満足」(53.8%)が5割を超えて最も多く、これに「満足」(13.0%)を合わせた『満足』(66.8%)は7割近くになっています。

一方、「やや不満」(8.1%)と「不満」(1.7%)を合わせた『不満』(9.8%)は1割となっています。(図5)

図5 n=770(単一回答)

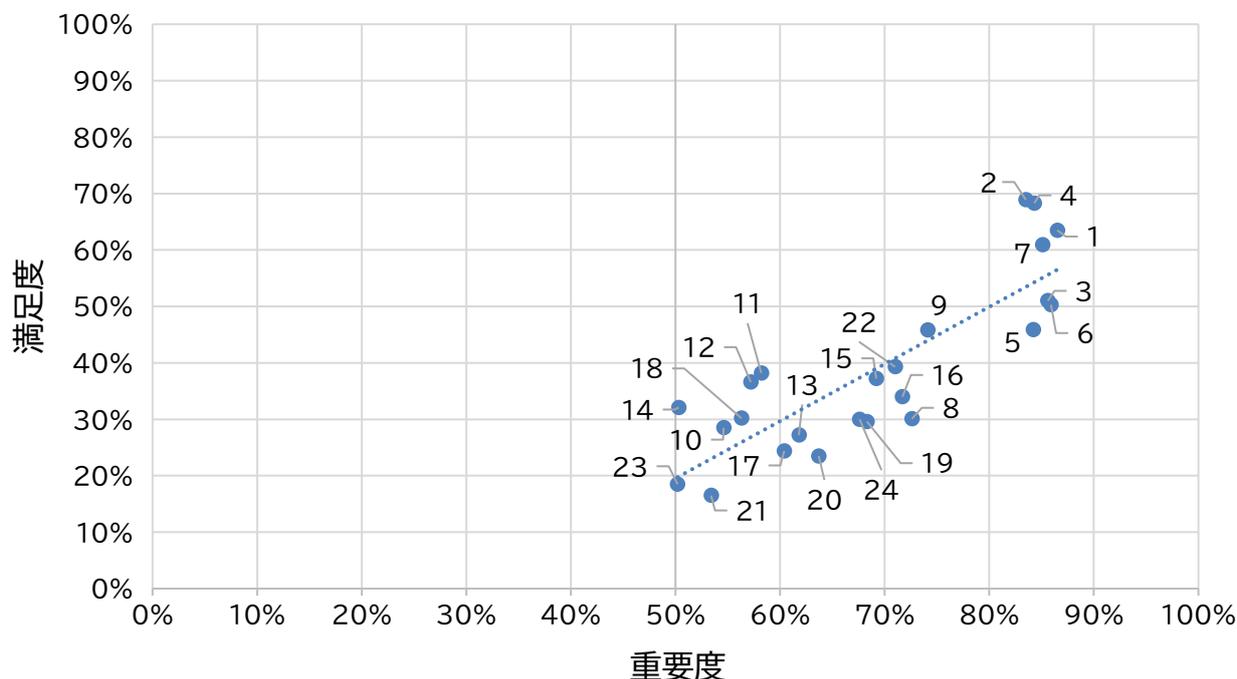


(図5)

区の実行分野における現状の区への評価(満足度)と、今後の取組の重要度についての考えに近いものを選んでいただいたところ、満足度の高いものは、「街並み景観の向上」(68.9%)、「公園・緑・水辺の整備」(68.3%)、「居住環境の向上」(63.5%)となっています。次いで、「ごみ問題・資源循環」(60.9%)、「道路・交通対策」(51.0%)、「防犯・生活安全対策」(50.3%)、「地震等の災害対策、地域防災力の向上」(45.9%)の順となっており、満足度が低いものは「生活困窮者の支援」(16.5%)、「男女共同参画社会の推進」(18.5%)となっています。

今後の取組の重要度の高いものは、「居住環境の向上」(86.5%)、「防犯・生活安全対策」(85.9%)、「道路・交通対策」(85.6%)、「ごみ問題・資源循環」(85.1%)、「公園・緑・水辺の整備」(84.3%)、「地震等の災害対策、地域防災力の向上」(84.2%)、「街並み景観の向上」(83.5%)の順となっています。(図6)

図6 n=770(複数回答可)

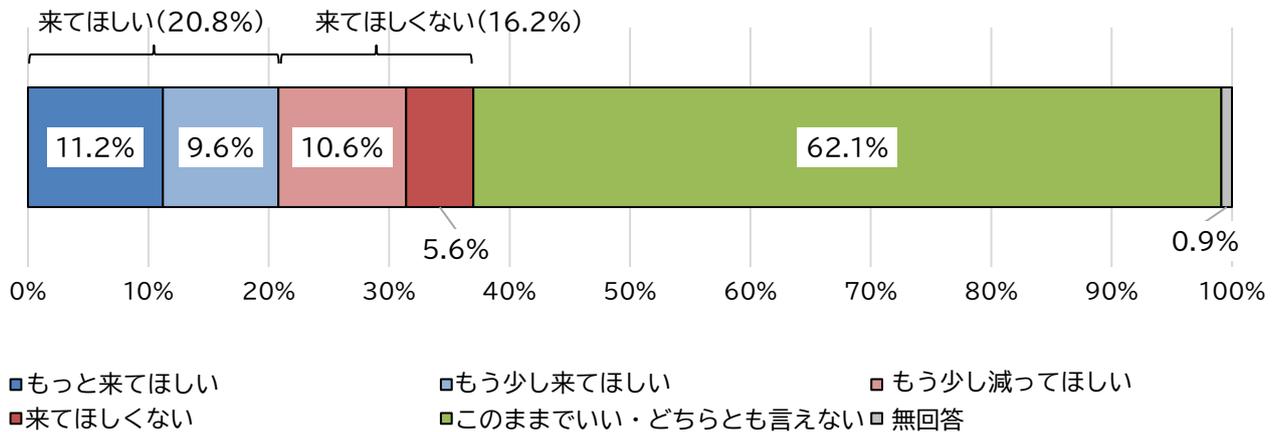


|                         | 満足    | 重要    |                 | 満足    | 重要    |                | 満足    | 重要    |
|-------------------------|-------|-------|-----------------|-------|-------|----------------|-------|-------|
| 1 居住環境の向上               | 63.5% | 86.5% | 9 たばこ対策         | 45.8% | 74.1% | 17 生涯学習の推進     | 24.4% | 60.4% |
| 2 街並み景観の向上              | 68.9% | 83.5% | 10 地域コミュニティの形成  | 28.5% | 54.6% | 18 スポーツ振興      | 30.2% | 56.3% |
| 3 道路・交通対策               | 51.0% | 85.6% | 11 国際化・国際交流     | 38.2% | 58.2% | 19 高齢者福祉の充実    | 29.6% | 68.3% |
| 4 公園・緑・水辺の整備            | 68.3% | 84.3% | 12 文化芸術の振興      | 36.6% | 57.2% | 20 障害者福祉の充実    | 23.5% | 63.7% |
| 5 地震等の災害対策、<br>地域防災力の向上 | 45.9% | 84.2% | 13 中小企業支援・商店街振興 | 27.2% | 61.8% | 21 生活困窮者の支援    | 16.5% | 53.4% |
| 6 防犯・生活安全対策             | 50.3% | 85.9% | 14 観光振興         | 32.1% | 50.3% | 22 健康づくり       | 39.3% | 71.0% |
| 7 ごみ問題・資源循環             | 60.9% | 85.1% | 15 子育て支援の充実     | 37.2% | 69.2% | 23 男女共同参画社会の推進 | 18.5% | 50.2% |
| 8 環境保全・地球温暖<br>化対策      | 30.1% | 72.6% | 16 学校教育の充実      | 34.0% | 71.7% | 24 デジタル化の推進    | 30.0% | 67.6% |

## 4 港区へ訪れる観光客について

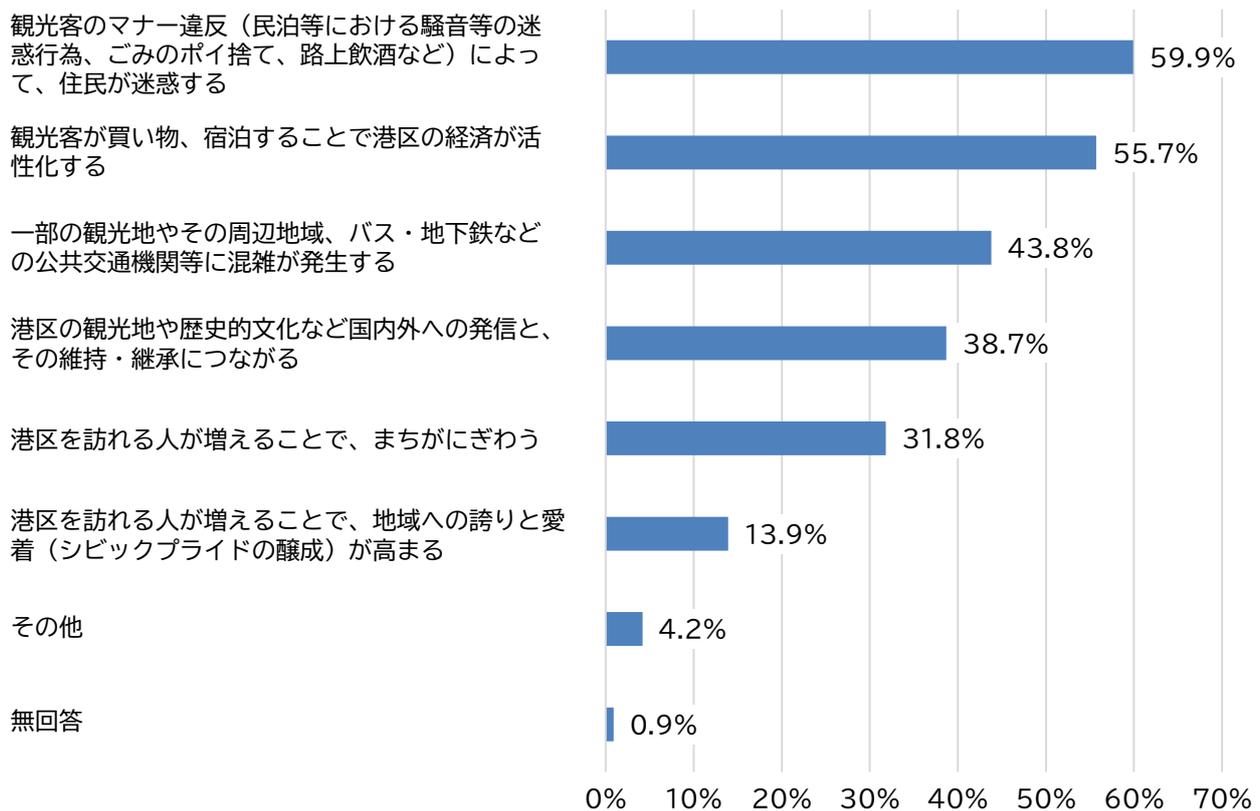
港区にもっと多くの観光客が来てほしいと思うか聞いたところ、「もっと来てほしい」(11.2%)と「もう少し来てほしい」(9.6%)を合わせた『来てほしい』(20.8%)約2割となっています。一方、「もう少し減ってほしい」(10.6%)と「来てほしくない」(5.6%)とを合わせた『来てほしくない』(16.2%)が1割半ばとなっています。最も多いのは「このままでいい・どちらとも言えない」(62.1%)が6割を超えています。(図7)

図7 n=770(単一回答)



観光客が港区にもたらす影響についてあてはまるものを選んでいただいたところ、「観光客のマナー違反(民泊等における騒音等の迷惑行為、ごみのポイ捨て、路上飲酒など)によって、住民が迷惑する」(59.9%)が6割となっています。次に、「観光客が買い物、宿泊することで港区の経済が活性化する」(55.7%)が5割半ばとなっています。(図8)

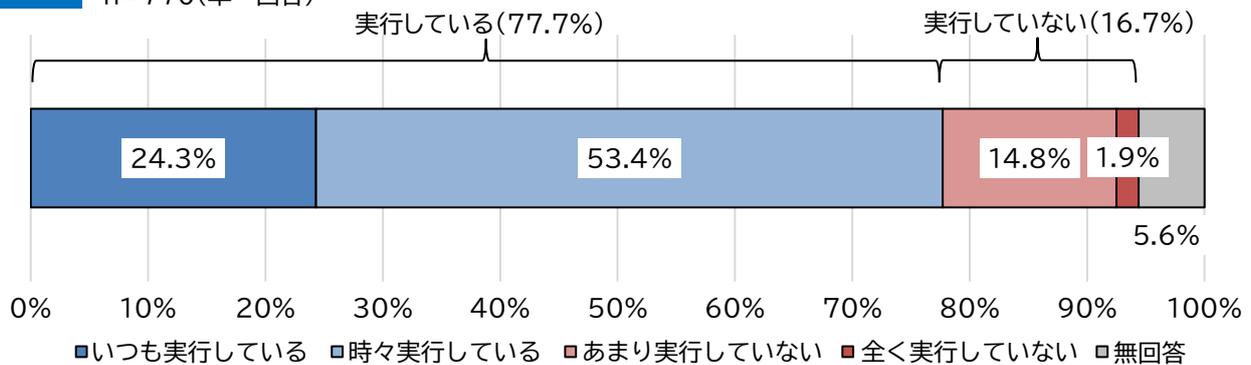
図8 n=770(複数回答可)



## 5 地球温暖化対策

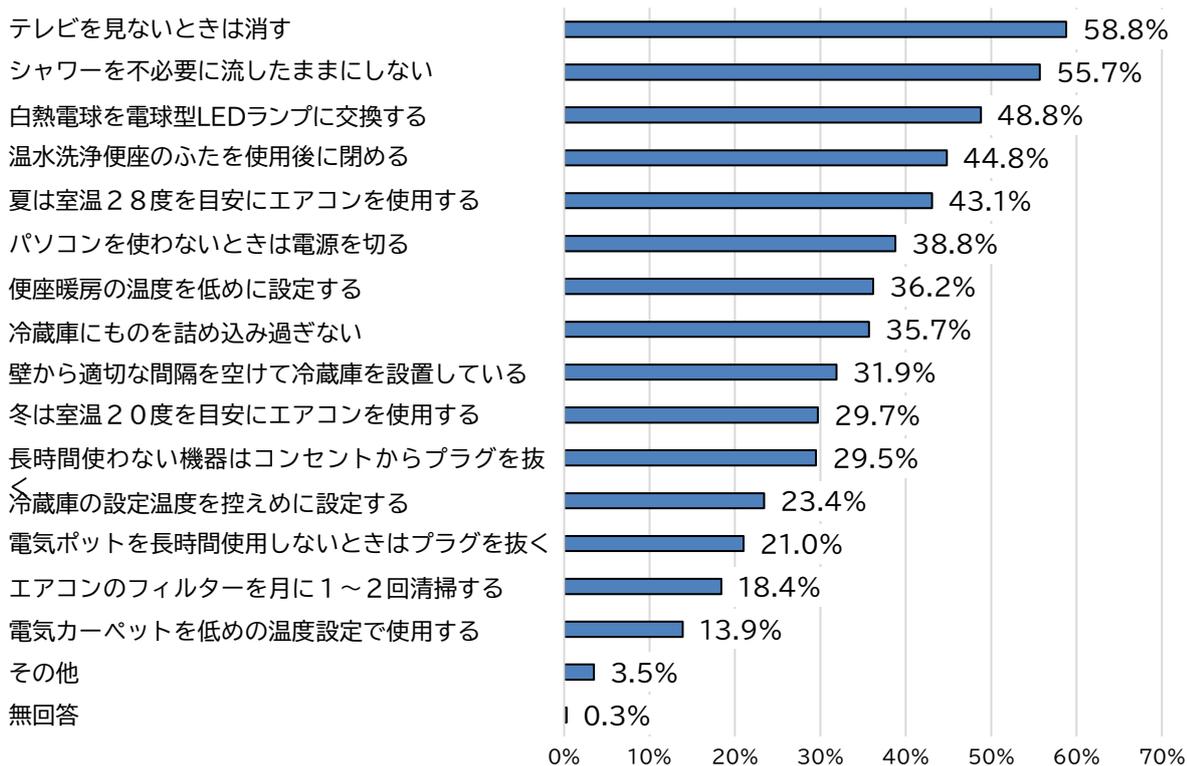
日常生活の中でどのくらい省エネルギーを意識した行動を実行しているかについて聞いたところ、「時々実行している」(53.4%)が5割を超え最も多く、これに「いつも実行している」(24.3%)合わせた『実行している』(77.7%)は8割近くとなっています。一方、「あまり実行していない」(14.8%)と「全く実行していない」(1.9%)を合わせた『実行していない』(16.7%)は2割近くとなっています。(図9)

図9 n=770(単一回答)



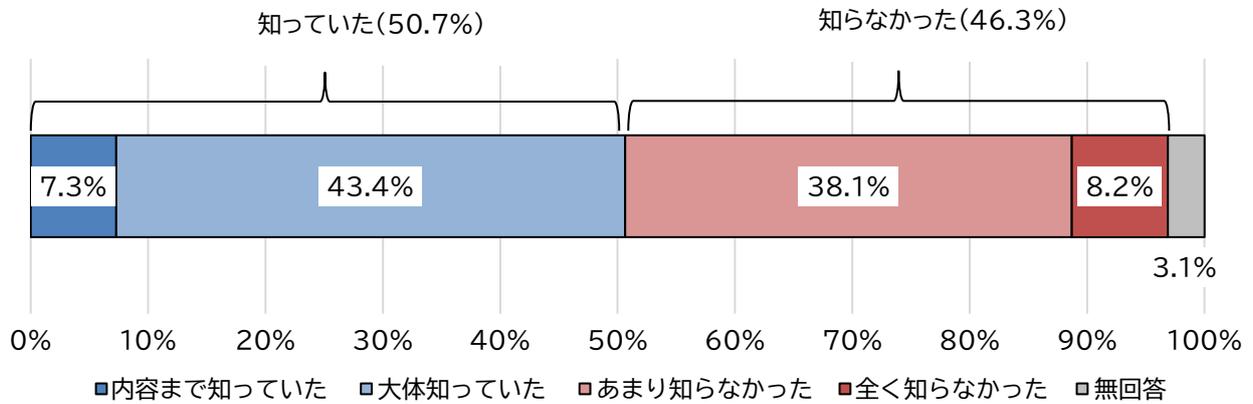
日常生活の中で省エネルギーを意識した行動を実行していると回答した方に、日常生活の中で実行している省エネルギー行動についてあてはまるものを聞いたところ、「テレビを見ないときは消す」(58.8%)が6割近くと最も多く、「シャワーを不必要に流したままにしない」(55.7%)が5割半ばとなっています。次に「白熱電球を電球型LEDランプに交換する」(48.8%)、「温水洗浄便座のふたを使用後に閉める(44.8%)」となっています。(図10)

図10 n=598(複数回答可)



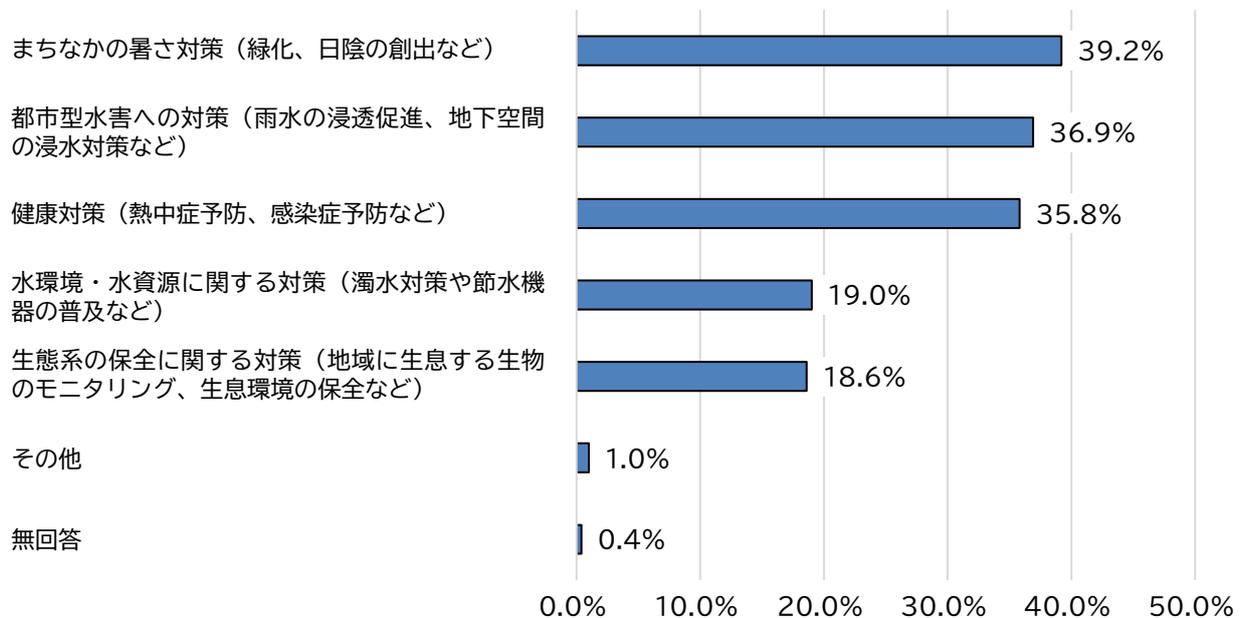
「気候変動の影響への適応」について、どのくらい知っていたか聞いたところ、「大体知っていた」(43.4%)が4割超えて最も多く、これに「内容まで知っていた」(7.3%)と合わせた『知っていた』(50.7%)は約5割となっています。一方、「あまり知らなかった」(38.1%)と「全く知らなかった」(8.2%)を合わせた『知らなかった』(46.3%)は4割半ばとなっています。(図 11)

図 11 n=770(単一回答)



気候変動の影響への適応の対策で知っているものがありますかと聞いたところ、「まちなかの暑さ対策(緑化、日陰の創出など)」(39.2%)が約4割で最も多く、ついで「都市型水害への対策(雨水の浸透促進、地下空間の浸水対策など)」(36.9%)、「健康対策(熱中症予防、感染症予防など)」(35.8%)となっています。(図 12)

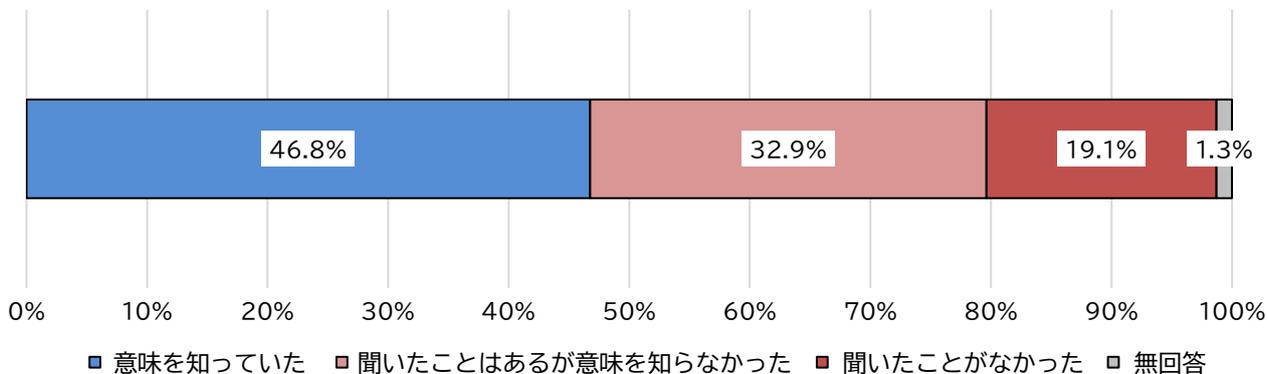
図 12 n=770(複数回答可)



## 6 生物多様性

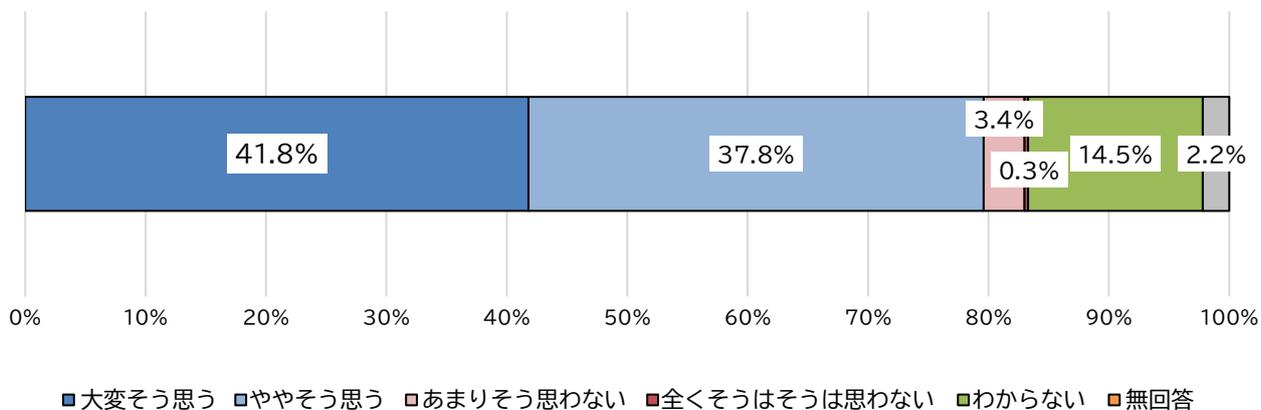
「生物多様性」という言葉を知っているか聞いたところ、「意味を知っていた」(46.8%)が5割近くと最も多く、「聞いたことはあるが意味は知らなかった」(32.9%)が3割を超えています。(図 13)

図 13 n=770(単一回答)



「生物多様性を守り、はぐくむことは大切である」ということについてどのように思っているか聞いたところ、「大変そう思う」(41.8%)が4割を超え最も多く、「ややそう思う」(37.8%)が4割近くとなっています。(図 14)

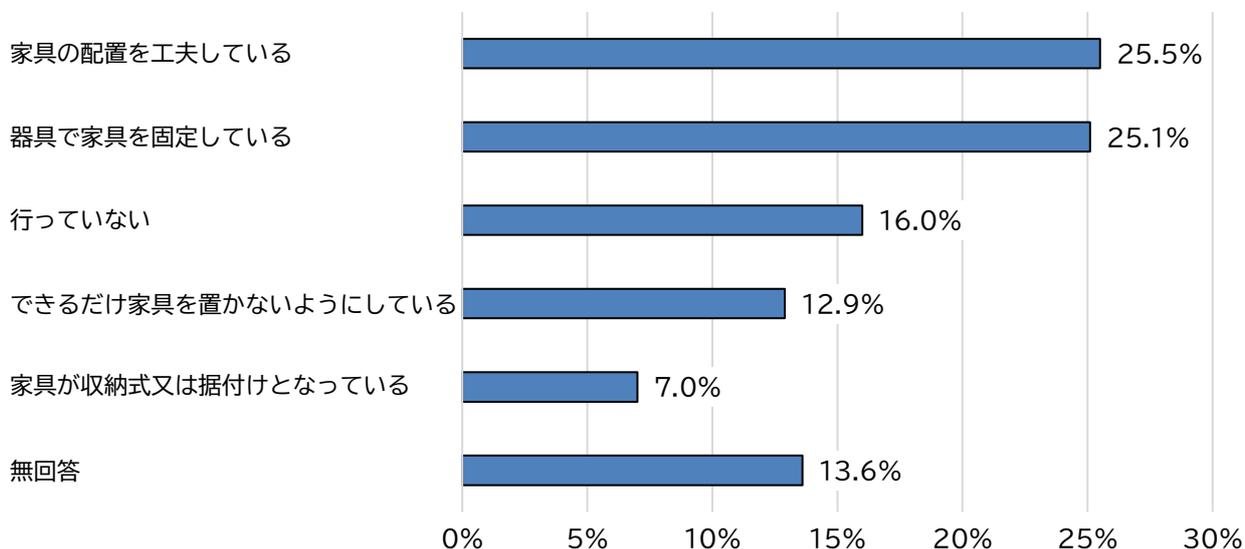
図 14 n=770(単一回答)



## 7 災害対策

震災時に自宅でケガをしないために、自宅でどのような対策を行っているか聞いたところ、「家具の配置を工夫している」(25.5%)、「器具で家具を固定している」(25.1%)となっています。(図 15)

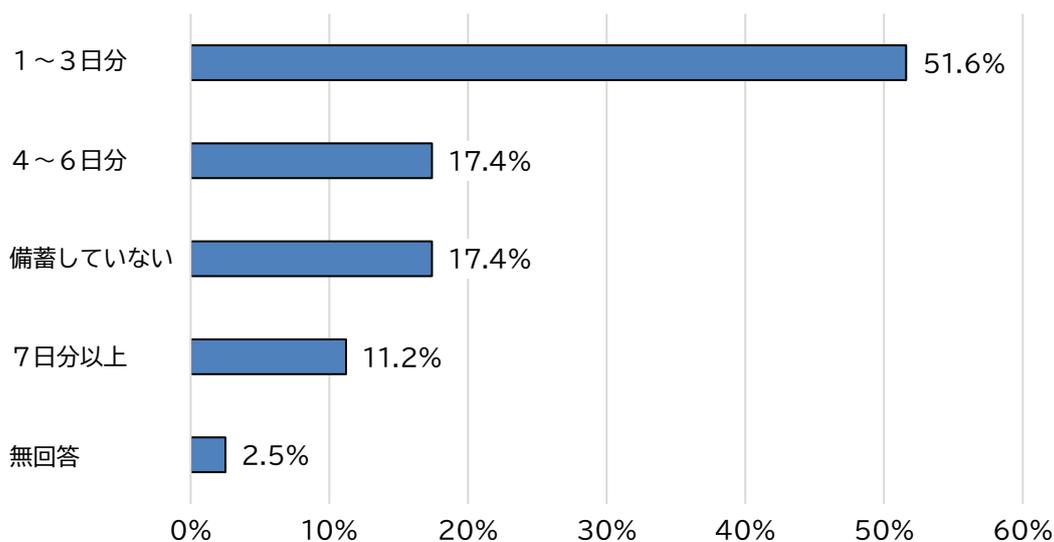
図 15 n=770(単一回答)



## 8 防災用品等の備蓄

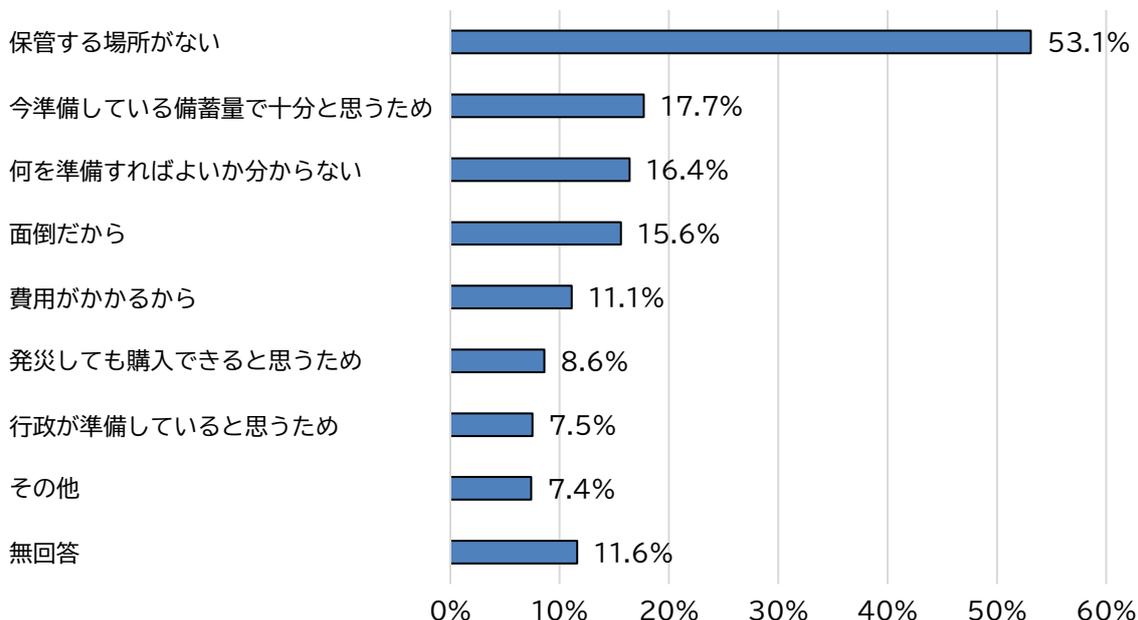
災害時に在宅避難等をする際の用意として、何日分の備蓄をしているか聞いたところ、「1～3日分」(51.6%)が5割を超えて最も多くなっています。(図 16)

図 16 n=770(単一回答)



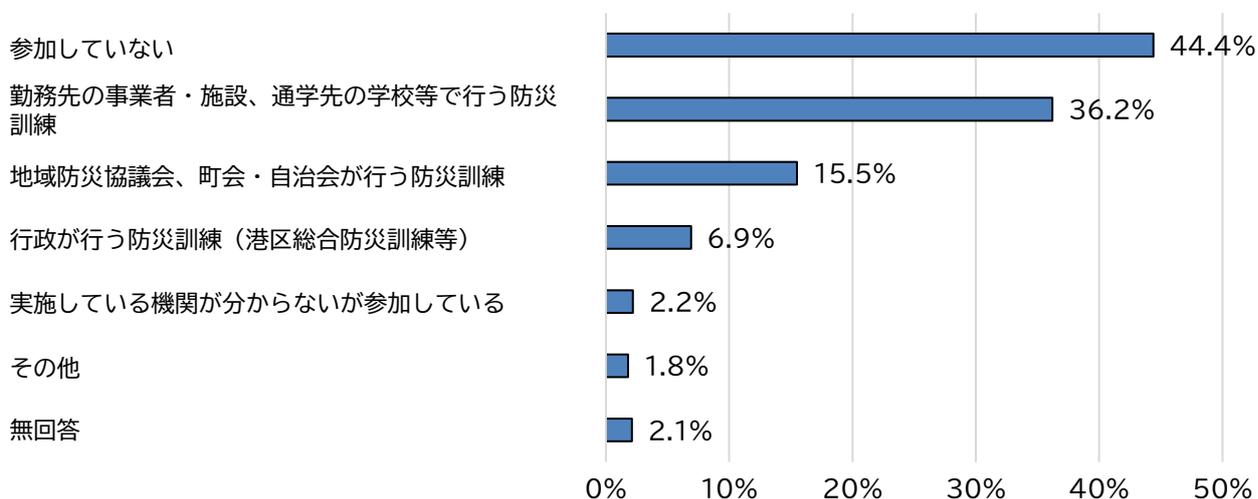
備蓄していない理由を聞いたところ、「保管する場所がない」(53.1%)が5割を超えています。(図17)

図17 n=665(複数回答可)



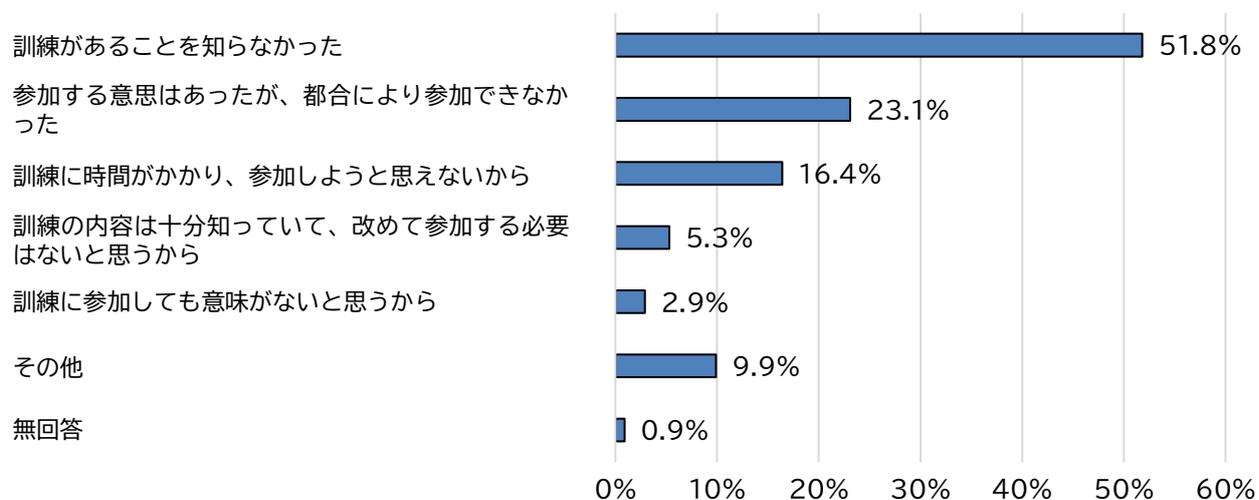
どのような防災訓練に参加しているか聞いたところ、「参加していない」(44.4%)が4割半ばとなっています。(図18)

図18 n=770(複数回答可)



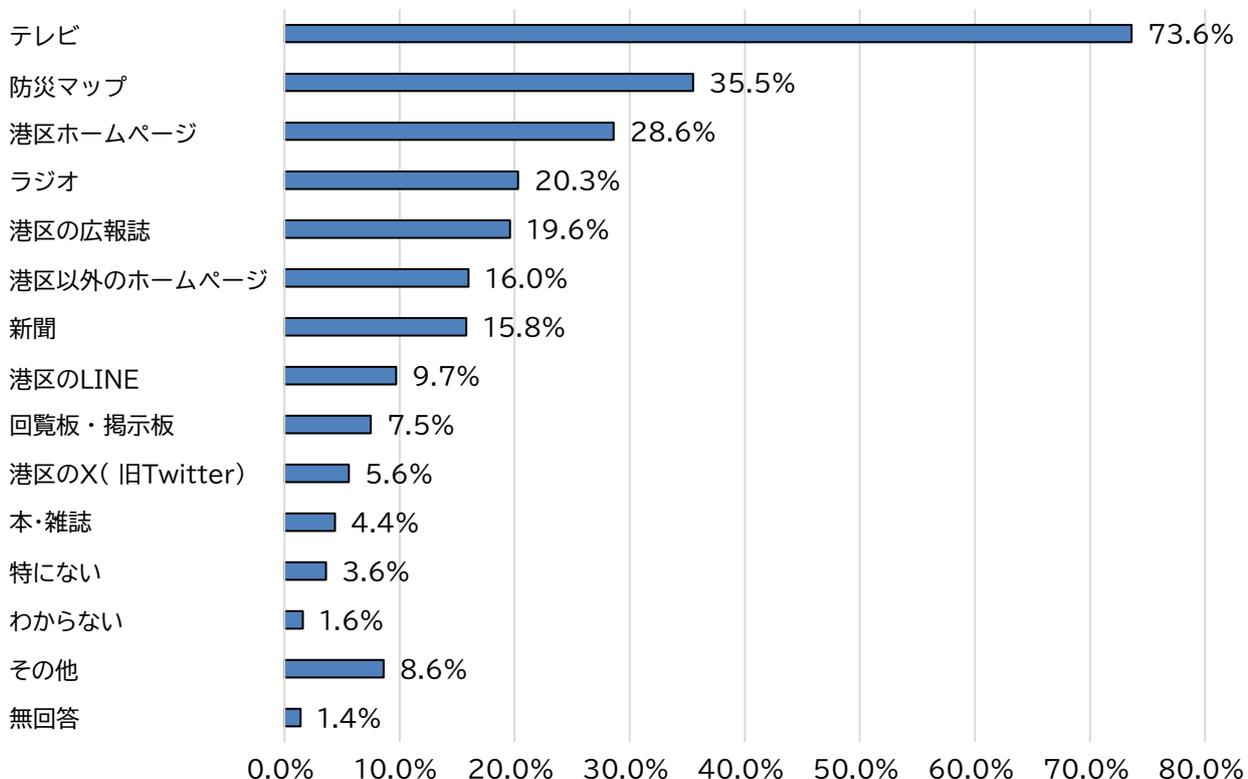
参加していない理由をきいたところ「訓練があることを知らなかった」(51.8%)が5割を超えています。(図 19)

図 19 n=342(複数回答可)



防災に関する情報(予防、緊急)をどのように入手しているか聞いたところ、「テレビ」(73.6%)が7割を超えています。(図 20)

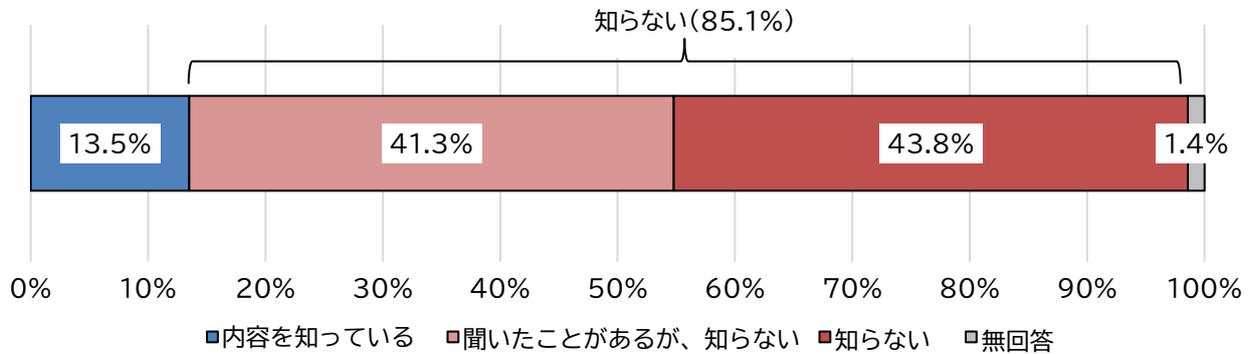
図 20 n=770(複数回答可)



## 9 男女平等

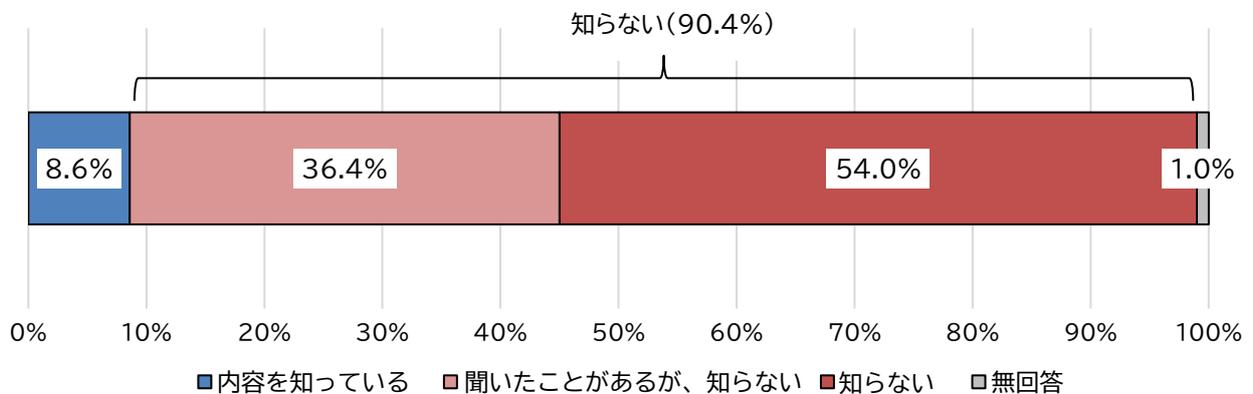
「港区男女平等参画条例」について、見たり聞いたりしたことがあるか聞いたところ、「内容を知っている」(13.5%)は1割を超えています。一方、「聞いたことがあるが、知らない」(41.3%)と「知らない」(43.8%)を合わせた『知らない』(85.1%)は8割半ばになっています。(図 21)

図 21 n=770(単一回答)



「港区男女平等参画行動計画」について、見たり聞いたりしたことがあるか聞いたところ、「内容を知っている」(8.6%)は1割近くとなっています。一方、「聞いたことがあるが、知らない」(36.4%)と「知らない」(54.0%)を合わせた『知らない』(90.4%)は9割になっています。(図 22)

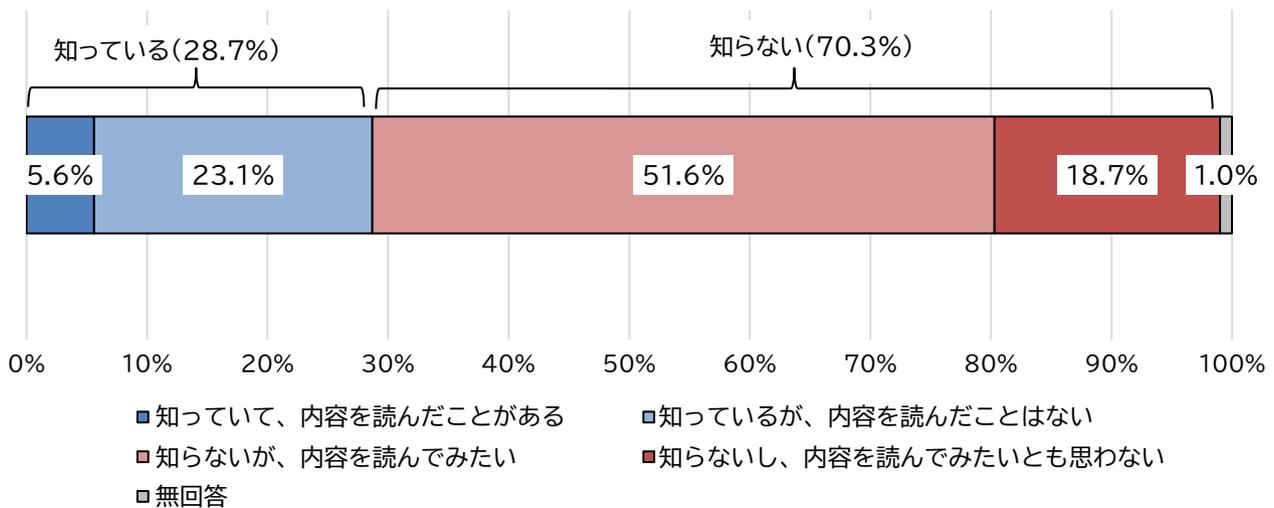
図 22 n=770(単一回答)



## 10 平和

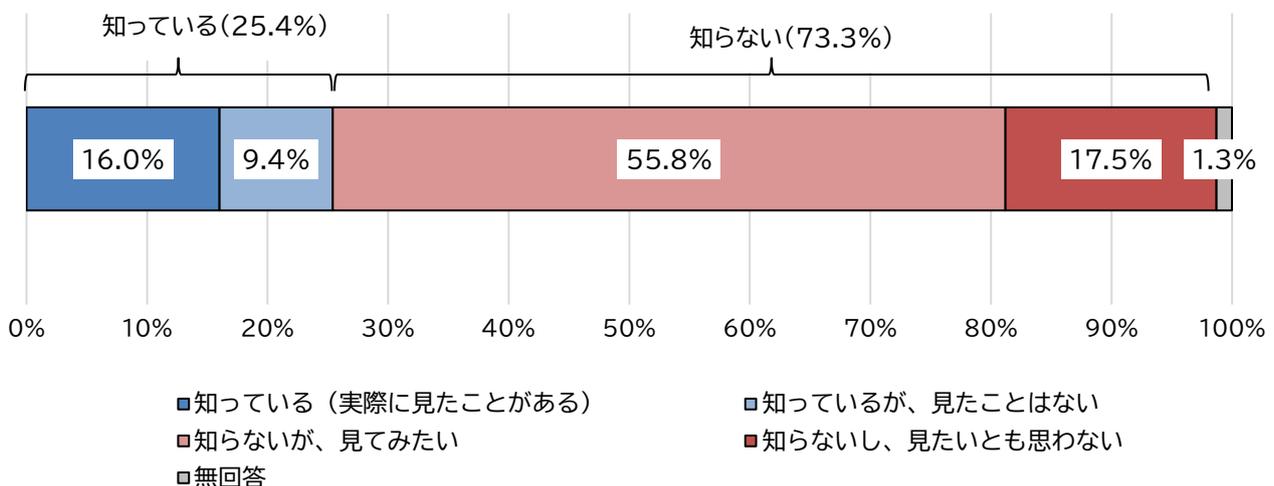
核兵器廃絶や世界の恒久平和を願い、昭和60年8月15日に「港区平和都市宣言」を行ったことについて内容を知っているか聞いたところ、「知っていて、内容を読んだことがある」(5.6%)と「知っているが、内容を読んだことはない」(23.1%)を合わせた『知っている』(28.7%)は3割近くになっています。一方、「知らないが、内容を読みたい」(51.6%)が5割を超え一番多く、「知らないし、内容を読んでもいいと思わない」(18.7%)を合わせた『知らない』(70.3%)は7割になっています。(図 23)

図 23 n=770(複数回答可)



平成17年に区立芝公園に「平和の灯(広島県広島市)」、「ナガサキ誓いの火(長崎県長崎市)」及び「平和の火(福岡県八女市)」の火を合わせた「平和の灯(ひ)」を設置したことを知っているか聞いたところ「知っている(実際に見たことがある)」(16.0%)と「知っているが、見たことはない」(9.4%)を合わせた『知っている』(25.4%)は2割半ばになっています。一方、「知らないが、見てみたい」(55.8%)が5割半ばと一番多く、「知らないし、見たいと思わない」(17.5%)を合わせた『知らない』(73.3%)は7割を超えています。(図 24)

図 24 n=770(複数回答可)



第 34 回港区民世論調査報告書概要版 ミナト オピニオン MINATO OPINION

令和 6 年(2024 年)3月発行

【編集・発行】 港区企画経営部区長室

港区芝公園1丁目5番 25 号 電話 03(3578)2111(代表)

刊行物発行番号 2023226-5861



港区は、みどりの保全とごみの減量に努めています。  
この印刷物は、古紙を活用した再生紙を使用しています。